

第 103 回 関西スペイン語教授法ワークショップ実施報告

日時：2016年11月5日（土） 10時30分～12時30分

GIDE(2015)『スペイン語学習のめやす』を利用して所要時間 20 分の教案を作る

テーマ 5：買い物

担当者：川口正通

使用言語：日本語

参加者：11 名

<背景>

『スペイン語学習のめやす』の 12 のテーマの中から、テーマ 5 の「買い物」を選んだ。このテーマを選んだ理由は、第 2 外国語授業の目的はさまざまであろうが、スペイン語（スペイン語に限らず、外国語全般）を使用する場面として、学生達自身が容易に想像しうるのは、海外旅行に行った時に遭遇しうる、交通、食事、買い物であろうと考えたためである。ただし、いわゆる「店員との会話」のようなものはほとんど取り上げず、インターネットを駆使して、店の営業時間、場所等を調べる活動をメインとした。店員との会話という題材は既存の教科書や学習書で頻繁に取り上げられるためである。一方で、インターネットを使用して店等の情報を収集するこのような活動は、近年の若者の海外旅行では必須の能力であろうと思われる。

<概要>

詳細は別添のパワーポイントおよび配布資料を参照。ここでは概要のみを紹介する。

・できるようになること

<解釈モード>

- ✓ 行きたい店の場所を調べることができる
- ✓ 行きたい店の営業時間を調べることができる

<対人モード>

- ✓ 店で、目当ての品を求めることができる
(=ほしいものを伝えることができる、どこにあるかを尋ねることができる)

<社会文化項目>

- ✓ 店の営業時間
- ✓ スペインの住所の表記
- ✓ 地図上での地下鉄駅、鉄道駅の表記

- ✓ 入店時、退店時のやりとり（挨拶など）

<機能項目>

- ✓ HP を見て位置、営業時間等に関する情報を得る
- ✓ 挨拶する・挨拶に応じる
- ✓ あるかないかについて情報を求める
- ✓ 位置関係について情報を求める

<語彙項目>

- ✓ 営業時間：horario
- ✓ 位置：ubicación, localización etc.
- ✓ 交通機関：metro, tren, RENFE
- ✓ 曜日：lunes, martes...
- ✓ その他：librería, vinoteca, frutos secos, novela policíaca, almendras, vino etc.

<文法項目>

- ✓ 直説法現在（estar, querer, tener, buscar, abrir...）
- ✓ 部分疑問文
- ✓ 全体疑問文

・手順

1. 国内旅行において、特定の店で特定の商品を購入する必要があるが、その店の場所や営業時間がわからない場合、自分ならどうするかを考えさせる。
→「スマホで検索して調べる」という答えを想定。
2. スペインへ旅行に行った際、特定の店で特定の品物を買う必要があるという状況を提示。
3. 指定された店の所在地、最寄駅、営業時間をスマホで調べさせる活動
4. 前段階として、必要な語彙（上記参照）を提示
5. ペアで3の活動をおこなう。
6. 店に到着してから、目当ての商品を求めるフレーズを考える。
7. 実際に自分がスペインへ行ったら買ってみたいものを考えさせ、それを売っていきそうな店について、同様の活動をおこなう。

（当日、模擬授業で扱えたのは5まで。6,7は担当者からの説明のみ）

<当日出たコメント等>

- この活動は、交通網が発達した地域が前提となっている。地域によっては地下鉄等が発達していない場合もある。

担当者コメント：たしかにその通りです。交通網だけでなく、インターネットもある程度発達した地域でなければ、この活動は難しいと思います。その場合は、たとえば現地でもらえる紙媒体のパンフレットや、バスの路線図等を使用して同じような活動ができるでしょうか。

- まず必要な情報をインターネットで検索した上で、店に着いてから必要となるフレーズに移っている点が良い。

担当者コメント：上記の通り、今回は店員とのやりとりよりも、店の情報を得る活動に重点を置きました。「必要な商品を特定の店で入手する」という目的であれば、ひとまず「お店の情報を得る」→「店にたどり着く」→「必要なものを伝える」が最低限の流れであろうと考えられますが、「店にたどり着く」はテーマ3「都市と交通」の範囲になるかと思い、その部分は活動から除外しました。

- 「最低限必要な表現」の選定は日本人教員よりもネイティブスピーカーの方がうまくできる印象がある。

担当者コメント：ノンネイティブの、特に教員は、どうしても文法事項に気を遣ってしまい、使用する表現が限定的になる可能性はあるかもしれません。その点、たしかにネイティブスピーカーは幅広い選択肢の中から自然でシンプルな表現を選定することができる可能性はあるような気がします。

- 店での会話について、各表現で使われる動詞や構文をこちらが指定することで、使用する名詞句での定冠詞、不定冠詞の別をコントロールすることができる。

担当者コメント：冠詞の用法は、実際の言語使用においては重要な要素ですが、少なくとも既存の教科書では、初級段階で詳しく説明されることがほとんどありません¹。そのため、冠詞を使用する表現と使用しない表現を教員側でコントロールできれば、時間の管理もしやすくなるように思います。

¹ 冠詞の用法が初級段階でほとんど説明されないことに関する是非は、ここでは立ち入らないことにします。